

《東大和市》

- 東大和市の教育に関する大綱
- 東大和市教育委員会の教育目標
- 第三次東大和市学校教育振興基本計画

目指す地域像

- 学校と目標・ビジョンを共有する地域
- 目標に向かって協働する地域
- 生徒の社会性を育む地域

《教育目標》

- 自ら考え、学び続ける生徒
- 豊かな心を持ち、自他を尊重する生徒
- 健康で、たくましく生きる生徒

地域として望む生徒像

- 夢や希望をもつ生徒
- 挨拶ができる生徒
- 笑顔の生徒

《東大和市教育委員会主要施策》

- 確かな学力(学力向上、読書教育等)
- 豊かな人間性(人権教育、健全育成)
- 健康・体力(健康教育、体力の向上)

学校として目指す生徒像

- 考えを深める生徒
- 使いたい心をもつ生徒
- 自分大切にしている生徒

コミュニティ・スクールの更なる推進

Waku Waku Community School

地域の学識者(保育園長、都立高等学校長、大学職員)を新たに招き、就学前から義務教育後の視点も踏まえて本校の教育活動の取組みを絶え間なく改善します。

保護者からの信頼

学校の情報の「見える化」

学級や学年、学校の情報を分かりやすく可視化し、紙媒体に頼らずに電子メールや1人1台端末を活用して保護者への説明責任を果たすことを通して学校のビジョンを共有します。

地域社会で育むキャリア形成

TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS

小学校でのTGG(立川)による英語の体験学習を中学校でのオンライン英会話を生かして小・中学校のキャリア教育をつなぎ、望ましい進路選択に活かします。

地域人材の活用

四中インターン

教員を志す大学生を「四中インターン」として通年で本校へ招き、困り感のある生徒を支援するとともに放課後の補習や学習支援を行い、誰一人取り残さずに生徒の可能性を引き出します。

四中人権宣言の実現

東大和市立第四中学校 人権宣言



前文

私たち東大和市立第四中学校の生徒全員は、「育てようポプラのように 四中を」を目標にして「あいさつができる 四中生」の伝統を引き継ぎながら、誰もが素敵で笑顔で学校生活を送ることができるように次の人権宣言を定めます。

第1条 自分を大切にするとともに、
友達がいることの幸せに、感謝します。

第2条 私たちは他の人の大切さを認め、
気持ちのよい言動を心がけます。

第3条 互いに尊重し協力しあうことで、
笑顔あふれる四中にします。

第4条 だれもがもっている夢を尊重し合い、
その実現に努力します。

第5条 ポプラのように、のびのびとした
学校生活を送ります。

ウェルビーイングの実現

四中人権宣言 第5条 の実現

生徒会が中心となって全校生徒で規則の根拠や社会規範とのかかわりを考え、生徒自身が生活のルールを考えることによって、のびのびとした学校生活を実現します。

ポプラ・タイムを軸にした学びの充実

個別最適な学び・協働的な学びの充実

教員はポプラ・タイム(総合的な学習の時間)を軸にして全教科等で1人1台端末を用いたグループ学習を行い、生徒相互が対話の中でひらめきやつぶやきを引き出せる授業を実践します。

ダイバーシティ教育の推進

生徒の自己実現

各教科や特別の教科 道徳、特別活動等の学習の中で生徒が相互に多様性を受け入れ、認め合うための配慮や考え方、行動を促す人権感覚を養う意識を高めてより良い進路の実現を図ります。

当事者意識のある生徒

学校行事への主体的な参加

運動会や修学旅行、移動教室、校外学習等の学校行事の企画に生徒を積極的に参加させ、教員は生徒の活動を支えることを通して、生徒の主体性を育みます。

ライフ・ワーク・バランスを徹底(育児・介護等の事情を踏まえて教職員の生活・仕事の両立を目指した質の高い教育)します。

- 月当たりの時間外勤務が45時間を超える教職員を0人にします。
- 「19時30分までの全教職員完全退勤」を実現します。
- マイ定時退勤日を設置し、週1回以上の定時退勤を実現します。

- Anniversary 休暇を導入し、年4回の記念日等を自主的に設定します。
- 全教職員の年次有給休暇の取得率を80%以上にします。
- 教職員は従前までの慣例にとらわれずに、各自の仕事量を削減します。